

質問件名 家庭ごみ有料化に向けて市民がごみを減らせるしくみづくりの徹底を

【質問要旨】

多くの市民がごみや資源の分別だけでなく、発生抑制のための努力をしていることが小平市一般廃棄物処理基本計画改訂のためのアンケート調査でうかがわれます。例えば、詰め替え商品を買う、不用な包装は断る、使いきれぬ量を購入するといった事柄です。こうした消費者の意識の変化に、生産者サイドも応え洗剤の詰め替え容器や簡易包装、少量規格のパックなどが増えています。また、レジ袋削減について、生活者ネットワークが提案した当初は難しいと言われていましたが、現在では小平市内の主だったスーパーの実に8割近くが、有料や辞退値引き、ポイント加算などレジ袋抑制を実施しています。

背景には、容器包装リサイクル法の策定に続き、2001年には循環型社会形成推進基本法が施行され拡大生産者責任の理念が位置付けられたことが大きく、これにより家電、食品、自動車のリサイクル法もでき、市民が環境配慮に取り組みやすい状況が徐々に整ってきたと言えます。消費者としての市民は日々の生活の中で限られた時間の中で暮らしています。個人の意識に応えるような環境配慮を取り込んだしくみを市がつくり、無理なくごみの分別や資源化ができることが重要です。

プラスチックによる海洋漂着ごみやマイクロプラスチックでの海洋汚染など、地球規模でのごみ問題が深刻化するなか、小平市では来年の4月から家庭ごみの有料化と戸別収集を始めます。多くの市民が関心を持ち意見を寄せている有料化の実施に向けては、負担に見合ったしくみづくりと検証による細かな見直しが必須です。市民が納得できるようなごみ減量を実現し、持続可能な循環型社会の形成につなげていくよう以下の質問をします。

- ①家庭ごみ有料化及び戸別収集の実施に向けての市民説明会について、会場・出前併せての実施総回数と参加市民の総数をお示ください。
- ②説明会で出た質問や要望に対し、家庭ごみ有料化及び戸別収集実施前に改善する取組があればお示ください。
- ③プラスチック類やペットボトルなどの店頭回収を増やしていくためにどのようなことを実施していますか。
- ④ペットボトル削減のために市内に給水器を増やす取組を進めてはどうでしょうか。
- ⑤エコショップ認定制度の開始は評価しているが、詰め替え容器持参の取組みや食品ロスを減らす努力をしている市内業者を認定するしくみをつくってはどうか。
- ⑥家庭ごみ有料化や資源化によるごみ減量、戸別収集についての見直しは5年に1回という頻度や審議会での実施にこだわらず、こまめにさまざまな方法で実施していくべきと考えますが見解をお示ください。
- ⑦拡大生産者責任を強化する法整備を国にどのように求めていますか。また、国の対応についての意見をお示ください。

上記のとおり、小平市議会会議規則第57条第2項により通告します。

2018年11月15日 小平市議会議長 殿

小平市議会議員 氏名 日向 美砂子

受付番号【 】

26	25	24	23

— (/)